

当センターを受診された患者さまへ

当センターを受診された患者さまへ

当院では下記の臨床研究を実施しております。本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせください。

研究課題名（研究番号）	脊髄損傷者に対する上肢機能リハビリテーション支援ロボット「ReoGo-J」を用いた介入効果の検証および適切な介入プロトコルの検討（医療 4-8）
当院の研究責任者（所属）	高浜 功丞（たかはま こうすけ） （千葉県千葉リハビリテーションセンター リハビリテーション治療局 リハビリテーション治療部 成人療法室 第二作業療法科）
他の研究機関および各施設の研究責任者	該当者なし
本研究の目的	<p>脊髄損傷者における上肢麻痺は日常生活（ADL）に大きな影響を与え、リハビリテーション介入が重要となります。とりわけ肩関節周囲筋の弱化とそれに起因する肩の疼痛はADLにおける大きな阻害要因です。</p> <p>これに対し、上肢機能リハビリテーション支援ロボット「ReoGo-J」を用いたリハビリテーション介入を実践した場合の効果検証を行うことで今後の脊髄損傷者の上肢麻痺に対するリハビリテーションの選択肢を拓げることを第一の目標としています。</p> <p>本研究は、ReoGo-Jを用いた上肢機能リハビリテーションの効果の検証を主な目的としていますが、介入メニューの検討や提供方法検討の一助とするとともに、今後のリハビリテーション介入の方向性の検討に役立てることも目的としています。</p>
調査データ 該当期間	2020年4月1日から2025年2月28日
研究の方法（使用する試料等）	<p>○対象の方々</p> <p>1) 本研究に同意を得られた千葉県千葉リハビリテーションセンターの入院または外来を利用している脊髄損傷患者さま方（損傷高位 C1～Th1 の外傷、非外傷性の完全・不全脊髄損傷者）</p> <p>2) 亜急性期から慢性期</p> <p>3) 年齢 18 歳～80 歳</p> <p>○利用する情報</p> <p>・当センターで実施した上肢機能評価、日常生活動作評価、診療情報、訓練場面、日常生活場面の動画や写真</p>
試料/情報の他の研究機関への提供および提供方法	他の機関への試料・情報の提供はない。
個人情報の取り扱い	利用する情報から氏名や住所等の患者さまを直接特定できる個人情報は 削除致します。また、研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さま個人が特定される情報は利用しません（動画や写真は個人が特定できないように加工した上で利用します）。
任意性の保証	参加・不参加は対象者の自由であり、途中で参加を取りやめることも可能です。また協力を辞退しても何ら不利益を被ることはありません。
本研究の資金源（利益相反）	本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
お問い合わせ先	<p>電話：043-291-1831（千葉県千葉リハビリテーションセンター代表）</p> <p>メール：kosuke.takahama@chiba-reha.jp</p> <p>担当者：リハビリテーション治療部 成人療法室 第二作業療法科 高浜 功丞（たかはま こうすけ）</p>
備考	特になし